



主な内容

- 車と歩行者が共存する北国街道へ…… 2
- 議会だより …………… 4
- 立ち直りを支える地域のチカラ… 10

大会に向けて練習する消防団員
(6月20日撮影、野々市中学校グラウンド)

車と歩行者が共存する北国街道へ

平成12年度に始まった本町地区のまちづくり活動は、平成16年度から本格的に「本町通りくらしのみちゾーン整備事業」として進められてきました。そして今年6月、車と歩行者の共存を目指した安心で快適な道路が完成しました。



着工前



完成後 電線類は地中に埋められました

歩車共存化に向けて

本町通りは、江戸時代に城下町金沢と京都を結ぶ北国街道でした。昭和41年には都市計画道路として決定し、将来的に幅員12mに拡張される計画となっていました。しかし、この通りには、国や町の指定文化財や歴史ある大木などが多数存在し、また、北国街道の歴史を今に残す特徴ある町並みとなっていることから、その都市計画道路の整備は難しい状況にありました。しかし、幹線道路として交通量も多いことから、歩道もない状況を改善し、車と歩行者が共存できるよう、現況の道路幅での整備を目指しました。

交通社会実験を実施

平成16年10月21日から11月20日まで、歩車共存化による安全・安心の確保を図る交通社会実験を行いました。車道にハンプ※¹やシケイン※²を実験的に設置して、周辺住民や歩行者などにアンケートを取りました。

また、平成13年にも本町地区全世帯を対象としたまちづくり意向アンケート

トを実施。「歩道のスペースをきちんと確保して欲しい」「安全に通行できるようにして欲しい」と安心して暮らせる本町通りを望む声が多く聞かれました。

※¹ 自動車の速度を抑制するために道路上に設けられたカマボコ状の突起

※² 自動車の速度を抑制するために道路上に設けられた障害物

町と地区住民が連携

主に地区住民で構成される「本町通りまちづくり協議会」が、平成16年度に発足。現在までに15回の協議会を重ね、歴史ある北国街道の町並み・景観・文化などについて幅広く議論してきました。

この間、協議会は県内外の町並みを視察し、道路の色・街灯のデザインをはじめ、ハンプの設置をやめ、自動車の速度を抑制するために、イメージシケイン（道路を色分けしたもの）を設置することなどを決定しました。

町は、この協議会の決定事項を尊重しながら、事業を進めてきました。協議会は、今後も住民主体のまちづくりを目指して活動を続けていきます。

歩きやすくなった本町通りを巡りながら、最近薄れつつある、街道を舞台にしたコミュニケーションや、歴史的価値を改めて考えてみませんか。

くらしのみちゾーン整備事業化までの経緯と取り組み

平成10年12月	町道の愛称募集により「本町通り」と決定。
平成12年度	本町地区のまちづくりを目的とした「本町通り町並み・まちづくり懇話会と地元ワーキンググループ」が発足。3年間活動を行う。
平成13年	住民アンケートを実施
平成15年3月	まちづくり方針案をとりまとめた提言書を町に提出
平成15年6月	国土交通省の「くらしのみちゾーン」として登録（約25.0ha）
平成16年	交通社会実験を実施。「本町通りまちづくり協議会」が発足。
平成17～23年度	本町通りの測量設計、地上機器設置箇所の用地買収、電線共同溝工事、入線、抜柱、歩車道共存工事、消雪工事、本町2丁目4号線整備予定

町通りの電柱地中化工事が完成して

まちづくり協議会の活動をして約7年。正直、一段落したという感じはあります。完成した本町通りを天気がいい日に見ると、青空をバックに長く伸びる光景は本当に美しいですし、夕方は昼とは違った風情や情緒が薫る雰囲気があるのがいいです。また、電柱が無くなったことで広々とした開放感あふれる道になり、多くの方が安全に快適に利用できる通りになったと思います。今年秋には市になりますし、本町地区で例年秋に行っている野菜みこしや獅子舞も、一緒に盛り上げていけたらいいなと思います。今後は、周辺住民の方と協力して多くの人が訪れるような工夫をしていき、にぎわいをみせるまちづくりをこれからも目指していきたいと思っています。



本町通りまちづくり協議会会長
無量井 次歳さん
(本町2丁目)

議会だより

議案21件が原案どおり承認・可決されました。議会議案は4件が原案どおり可決されました。



可決された議案

専決処分（平成22年度町一般会計補正予算）の承認

2億1,601万3千円を減額し、予算総額を17億1,945万8千円としたもの。

■主な内訳 事業に係る国県支出金などの交付決定に伴う歳入予算の補正および事務事業の確定に伴う歳出不用額などの調整。

専決処分（平成22年度町国民健康保険特別会計補正予算）の承認

5,406万7千円を減額し、予算総額を41億3,895万5千円としたもの。

■主な内訳 財政調整交付金、療養給付費等負担金などの確定に伴う歳入予算の補正および療養給付費や高額療養費などの確定に伴う精算額の調整。

専決処分（平成22年度町後期高齢者医療特別会計補正予算）の承認

2,814万8千円を減額し、予算総額を3億1,538万7千円としたもの。

■主な内訳 保険料決算見込や保険料基盤安定繰入金などの確定に伴う歳入予算の補正および保険料納付金決算見込みや保険料基盤安定、事務費納付金などの確定に伴う精算額の調整。

専決処分（平成22年度町老人保健特別会計補正予算）の承認

13万3千円を減額し、予算総額を863万4千円としたもの。

■主な内訳 医療給付費等の確定による調整。

専決処分（平成22年度町介護保険特別会計補正予算）の承認

1,052万3千円を減額し、予算総額を18億3,085万2千円としたもの。

■主な内訳 保険料決算見込、事務費繰入金などの確定に伴う歳入の補正および介

する。

町公平委員会委員の選任につき同意

田中 波津美氏（粟田3丁目）を選任することに同意する。

町監査委員の選任につき同意

藤谷 嘉信氏（本町2丁目）を選任することに同意する。

一般質問

町政全般にわたり、金村、杉林、西本、中村、辻、岩見、大東、早川、村本議員の9名から一般質問が行われました。

質問者と質問、答弁の要旨は次のとおりです。（発言順）

非常時の防災対策について



金村 哲夫 議員

Q 現在、当町は災害に対し地域防災計画を策定しているが、東日本大震災で得た教訓から、非常時において避難場所を増やす必要があるのではないかと考える。町内に指定された避難場所よりも、近くに大学などの施設がある場合は、どうしてもそちらに避難することが多いと考える。避難場所は耐震性に優れ、食料などの備蓄設備が必要とされることから、県立大学、野々市明倫高校、明和特別支援学校、金沢工業大学と協定を結び対処すべきと考えるが、見解を聞く。

A 県が行う被害想定見直しを参考に、施設の状態、避難所間の距離な

護サービスに係る介護給付費等の確定に伴う精算額の調整。

専決処分（平成22年度町下水道事業特別会計補正予算）の承認

1,640万3千円を減額し、予算総額を17億3,522万8千円としたもの。

■主な内訳 受益者負担金、下水道使用料の確定による歳入の補正および流域下水道維持管理負担金の確定などによる歳出の調整。

専決処分（平成22年度町水道事業会計補正予算）の承認

収益的支出において1,300万円を増額し、資本的収支では支出について1億7千万円を減額する。

■主な内訳 事業の確定などに伴う予算の調整。

専決処分（町国民健康保険条例の一部を改正する条例）の承認

国民健康保険税の課税区分のうち、医療分に係る賦課限度額を現行の50万円を51万円に、後期高齢者支援金分に係る賦課限度額13万円を14万円に、介護納付金分に係る賦課限度額10万円を12万円に改正する。

専決処分（町国民健康保険条例の一部を改正する条例）の承認

出産育児一時金支給額39万円を恒久化する。

専決処分（町税条例の一部を改正する条例）の承認

消火栓ホース格納箱の設置に補助を



杉林 敏 議員

Q 当町の昨年中の火災件数、損害額は前年と比較し大幅に減少しているが、火災発生時の屋外水利を利用した消火設備が少ないように見受けられる。建物や塀などに消火栓の近くで人の目につき、住民の誰でもが容易に使用でき、いち早く消火活動できる消火栓ホース格納箱の導入に補助を望む。

A 自警団を対象にホース、管鎖、消火栓スタンドなど消火用資機材の購入の際に、その費用の2分の1を補助しているが、格納箱自体は補助対象にしていなかった。初期消火活動に有効であることから、今後、格納箱も補助対象としていきたい。

Q 11月11日の市制施行に向けた準備が本格化し、市制施行にあたって

市制施行に向けた行政の事務事業の進捗状況について

野々市町に休日・夜間診療所の開設を



西本 政之 議員

Q 町の休日・夜間医療体制についてであるが、当町は開業医が多く、平日と土曜日の日中の医療体制は比較的充実している。しかし、休日・夜間において町民に十分な医療が提供できて

東日本大震災の発生に伴う特例措置により地方税法などが改正されたことに伴い、本条例の一部を改正する。

町の区画を新たに画し、および変更すること並びに字の区域を廃止すること

町中南部土地区画整理事業の換地処分などにより町名地番整備を行う。

請負契約の締結

●町営住宅建設工事を5億7,928万5千円で株式会社豊蔵組と契約する。

●児童館併設放課後児童クラブ建設工事を8,746万5千円で株式会社豊蔵組と契約する。

●あすなろ地下道改修工事を1億4,266万5千円で大鉄工業株式会社と契約する。

●町立富陽小学校増築等工事（建築工事）を8億2,425万円で真柄・和泉特定建設工事共同企業体と契約する。

●町立富陽小学校増築等工事（電気設備工事）を1億5,382万5千円で第一電機・北陸電設特定建設工事共同企業体と契約する。

●町立富陽小学校増築等工事（機械設備工事）を1億2,697万6,500円で松下管工・荒木空調特定建設工事共同企業体と契約する。

財産の取得

消防ポンプ車を1,559万7,500円で長野ポンプ株式会社と契約する。

●小型ノンステップバスを1,873万6,930円で石川日野自動車株式会社と契約

行政の事務事業における追加や見直し作業などの準備に怠りはないのか、現時点での進捗状況を伺う。

A 市制施行に係る住民向けパンフレットを全世帯に配布する準備、各種書類関係や電算システム変更など鋭意準備を進めている。

矢作交差点の右折車線確保について

Q 庁舎へ通じる県道の矢作交差点で、矢作北交差点方向からの右折車両の後方に直進車両の渋滞が発生している。運転手のイライラ解消、渋滞緩和により通行をスムーズにするために、矢作諏訪公園付近からの直進と右折車線の確保を望む。

A 用地確保が必要になるため、地元の見解を聞きながら、県・関係機関などと交通渋滞解消対策を含め、検討したい。

いないことから、「休日・夜間診療所」の必要性を訴え、開設を求める。

A 休日・夜間診療所の開設は現在のところ考えていないが、白山ののいち医師会と、従来からの広域での医療

体制のあり方とあわせ、引き続き休日・夜間診療における協力体制のあり方について検討したい。

富陽小学校の増改築工事について

Q 児童数が最も多い同校では、この先もますます増加が見込まれる。14教室増の35教室で十分なのか。さらに慎重かつ大胆な試算を求める。また、同校は災害時緊急避難場所に指定されていることから、停電に対応するための自家発電設備や飲料水の確保策などを講じて、災害時避難場所として十分な機能をもつ小学校に作り上げるべきではないか。さらに、町内小学校最大となる図書室に正規職員の学校図書館司書を配置することで、図書教育を充実させ、当町を県下一の教育都市にせよ。



消防団、自警団の団員確保について

中村 義彦 議員

Q 災害時に、大変重要な役割を果たす消防団、自警団の充実を図り、団員確保にあらゆる手だてを考え実行せよ。

A 消防団員を安定して確保するためには、地域の協力が不可欠であるため、町内会に積極的に働きかけていきたい。また、団員を雇用する事業主に消防団の活動を理解してもらうため、商工

A 教室数については、将来児童数推計調査、文科省の教職員定数改善計画による少人数学級の導入を考慮すると、平成31年度で普通教室が34教室必要となることから、35教室の確保で十分対応できると考える。避難場所としての機能であるが、避難場所として使用する体育館は、昭和57年度建設であり、新耐震基準を満たしている。自家発電設備については、出力5キロワットの太陽光発電の設置以外は考えていない。飲料水の確保については、今回改修する受水槽内の水の活用、近隣の消雪用井戸を利用したい。また、図書館司書については、平成13年に町内小中学校に専任の図書館司書を配置した。平成17年度には雇用形態を臨時から嘱託に改善したが、正規職員を学校に配置することは、現段階では考えていない。

会の協力を得ていきたい。さらに、消防団協力事業所表示制度の周知に努めるとともに、協力事業所には表彰、広報紙などで紹介することを予定している。

市民スポーツセンターの整備について

Q 最新の自然エネルギー技術利用の災害に強い新しい市民総合スポー

ツセンターを市制施行のシンボルとして整備すればどうか。

A 町内スポーツ施設についてはスポーツ関係団体から、いろいろ要



水害対策と用排水路の改善策について

辻 信行 議員

Q 当町の東側には森本く富樫断層があり、東日本大震災を機に雨水対策、洪水対策など防災計画の想定範囲の見直しが必要ではないか。

A 今回の震災を受け、職員の初動マニュアルと避難所運営マニュアルを見直し、全職員に対し、周知徹底した。金沢工業大学に災害対応や防災について協力関係を構築できるよう、協定締結に向けた申し入れを行った。また、専門家の意見を参考に、地域防災計画の修正を行いたい。

Q 宅地化された地域に残る水田は、大雨の時の一時的な調整池としての役割を果たしてきたが、宅地化が進み水田は少なくなってきた。用排水路は当時のまま幅や深さがまちまちで、場



志賀原発事故を想定した地域防災計画

岩見 博 議員

Q 町民の命と安全に責任を持つ立場から、志賀原発の運転再開に反対し、北電と県に総点検を求める考えは。志賀原発事故を想定した地域防災計画

の見直しを。

A 福島第一原発の事故を受け、各方面でその安全性に対する議論が高まっている。現在、志賀原発は運転が再

開されていない状況であり、安全性確保の客観的検証や安全対策などを見極めながら、対応を検討したい。地域防災計画については、放射能被害のみならず、総合的な見地から見直したい。

津波対策を

Q 日常生活で津波の危険地域にいる機会がある。津波警報が出た時に率先して逃げる勇気を身に着ける訓練、教育が必要。津波災害も地域防災計画に入れては。

A 当町は海岸線から4キロメートル以上離れているが、標高は約9メートルから約49メートルと平坦な地形であり、高台への避難は容易ではない。巨大津波の影響については、水路や工作物などさまざまな要素を踏まえ、調査、研究したい。また、地域防災計画については、津波被害のみならず、県が実施する被害想定の見直しや、国が示す防災指針などを参考に、研究機関とも協議を重ね、町民の安全・安心な生活を第一に考えていきたい。

避難所の生活環境の改善を

Q 高齢者、障害者、赤ちゃんのいる世帯が他人にあまり気を使わず安心できる避難所に。

A 近年の地震災害で開設される避難所は、プライバシーへの配慮から授乳室や更衣室を設けるなどの対策が

とられていると聞く。当町でも避難所の開設から運営組織の結成、運営方法、空間の割り振りなどについて、関係機関と検討し、被災者が安心して暮らせる体制整備に努めたい。

公共施設の耐震化を

Q 保育園、青少年センター、子育て支援センター菅原の耐震化を急げ。

A 建設年度から耐震化が必要と思われる保育園は、町立3カ所、社会福祉法人1カ所である。一番建設年度が古いのは栗田保育園であるが、この園については、社会福祉法人による建て替えを検討している。他の園についても、耐震補強工事または建て替えの検討・協議を行いたい。また、青少年センターについては、施設の老朽化が著しく、施設機能の安全性も鑑み、廃止も視野にいれて早急に検討したい。さらに、子育て支援センター菅原は平屋建てであることから、耐震化の該当建物となっていないが、利用している児童などの安全を確保する観点から、今後、耐震化の検討を進めたい。

仮設住宅確保について

Q 仮設住宅の入居対象を希望者全世代に。復旧・復興を進めるうえで学校の授業再開や保育所の再開が重要で、仮設住宅として民間住宅の借り上げを。

A 災害救助法適用の災害時において、住まいの確保ができない方に住居の支援を優先して行うべきである。また仮設住宅用に民間住宅を借り上げること

も被災者の生活再編に向けた対応の一つと考えるが、住宅の質が被災者の思いと一致するか、入居予定期間を過ぎた場合の延長など貸主と借主の関係が崩れたときのトラブルも考えられる。いずれにせよ仮設住宅の入居対象と設置戸数も含め、国・県の動向などを踏まえ、実効性のある災害対応に努めたい。

介護保険法の改定について

Q 法案では「要支援」と認定された軽度者を保険給付外にすることが



財政の見える化を実現するために

大東 和実 議員

Q 地域主権の時代へ、一歩リードの都。財政の「見える化」を実現するため

に、「公会計制度」の改革をしたことにより借金一兆円を発見し、一年で解消につなげた。財政健全化を誇る当町の魅力増進につながる公会計の改革を提案する。

A 当町でもすでに、バランスシート、行政コスト計算書、キャッシュフロー計算書、純資産変動計算書の4表を作成し、公表している。

望がよせられている。それらについて必要性も含め、総合的に検討していく必要があるのではないかと考える。

所によっては地域の側溝の泥上げ清掃では対処できなく、幼児の背丈ほどの深くて幅の狭い箇所もある。大局的な防災計画と並行して身近に存在する危険な場所とその恐れのある場所を点検し、きめ細やかな改善対策を提案する。

A 道路側溝などに堆積するヘドロは排水溝など泥上げができない場所については、必要に応じて町が清掃をしている。また、危険な箇所などについては町内会の意見を聞いたり、点検やパトロールを行い、用水を管理している生産組合などと調整を図りながら、防止対策などの改善を行いたい。

できる。利用者が現行の保険給付を希望した場合、利用者の希望は絶対叶えられるか。

A 厚生労働省は対象者の状態など基本的な事項を定めた指針を策定し、基準は厚労省令で規定するとのことなので、その内容を把握する必要がある。今回の改正は市町村の判断により、要支援者、介護予防事業対象者向けの介護予防・日常生活支援のためのサービスを総合的に実施できる制度となり、市町村地域包括支援センターが利用者の状態や意向に応じ予防給付で対応するのか、新たな総合サービスを利用するのか選択できることとなる。いずれにせよ改正内容の把握に努め、今後もし省令・通達などを注視したい。

新公会計制度の詳細については、国の今後の新地方公会計の推進に関する研究会での動向を注視したい。
Q 迅速な行政サービスの提供に威力ある被災者支援システムの導入を提案。東日本大震災からの教訓を、当町の現状と課題、今後の対応について伺う。
A 大規模災害時には大変有用であるが、システム導入にあたっては、住民情報システムなどから取り込むデータの種類や変換方法など整理すべ

き課題もある。今後調査、研究したい。

Q 総合病院、松任石川中央病院をもっと使いやすくするために、シャトルバスの広域化で利用者の利便性を高めることや、病院、白山市、金沢市、民間活用など、協賛者を増やし当町と中央病院を結ぶ交通機関の確保を提案する。

A シャトルバスの実験運行では、1日当たりの利用者数が民間事業者の採算ベースに及ばず、今年3月末で実験運行を中止した。住民に利用意向調査を実施し、シャトルバスの運行目的を通勤通学、通院に特化させ、広域的な運行の可能性を見据えたルート設定を検討したい。また、松任石川中央病院などは利便性向上を図る必要がある医療機関と認識しており、新規ルート検討に際しては、関係市と協議する中で、直接乗り入れも視野に入れていきたい。

Q JR野々市駅舎の駐輪場をヨーロッパの駅周辺のように美しく隠してはどうか。

A 駅南口では新幹線高架橋の工事終了後、高架下に駐輪場を整備する



来年度の中学校教科書採択について

早川 彰一 議員

Q 新しい教育基本法の改正に基づき、学習指導要領の改訂が行われ、教科書会社は教科書を編さんした。今年3月末に検定合格となった教科書の内

ことで、約400台駐輪可能となる。駅北口では交遊舎の駐輪場も含めて375台収容可能な駐輪場がある。JR野々市駅は通学で利用する高校生が多いことから、防犯上の観点からも駐輪場を生け垣や塀で隠すより、周囲から見えることにより利用者の安全を図りたい。

Q 音声コード普及のため、急がれる自治体の対応。今後の取り組みについて伺う。

A 携帯電話機能を使った音声コード読み取り装置については、対応する携帯電話が1機種、今年4月に発売されており、携帯電話のほかに補助アダプタが必要であるが、障害のある方が持ち運びしやすく、使用に関して今後も大きな効果が期待できる機器と思っている。町としても視覚に障害のある方への情報格差解消のため、音声コードを添付した印刷物の普及を推進していくべきであると考え。今後も関係機関・団体からの情報収集に努めるとともに、連携を密にして障害に応じたきめ細かい福祉施策を実施したい。

容などについて聞く。

国土防衛や災害派遣で活躍している自衛隊を「憲法違反」と疑える集団という紹介をする教科書について。拉致問題

を目標に、ベンチャー企業が進出する際の受け皿になる基盤整備、周辺の適正な施設配置などを検討したい。

地区と校下について

Q 本町・富奥・郷・押野の4地区は、それぞれ共通の夢もあれば、そうではない極めて個別の課題もあると思われる。まずは、「ののいち子」の校下にふさわしい地区の環境を整えては。

A 地区と校下については、これまでいろいろな議論があった。また、町民意識調査では2つの意見が均衡していた。いずれの区割りもそれぞれコミュニティづくりにおいて有意であり、双方の利点を活かしていく中で、さらに温かい活力あふれる地域社会を目指していきたいのではないと思っている。

市制施行の式典などの基本方針は

Q 記念事業の概要は。百年に一度あるかないかの祭典である。町民こそって、子どもたちも一体となってお祝いする事業の計画を望む。

A 市制施行日に庁舎にて開市式、その後文化会館にて市制施行記念式典を予定している。当町の財政状況だけでなく、昨今の経済状況、社会情勢を考えると、行政が実施する式典などは肅々と厳かに執りたいと考えて。町立小中学校においては、当日全校集会を予定

しているが、そのほか、教育委員会として何ができるか学校側と検討している。また、全町的な各種団体などが主体となり、催し物を企画、運営していただければ、市民協働の理念の中で、新しい市の出発点としてふさわしいのではないかと考えている。

緊急通報システムの早急な構築を

Q 原発事故の避難勧告は、レベル7だと米国や韓国など諸外国では半径80キロメートル、100キロメートルの国も。庁舎から志賀原発への直線距離は60キロメートル、敦賀原発へは100キロメートルである。緊急時通報システムがあれば隣近所に声をかけ公園にある通報システムを使い自衛を呼びかけることができると思う。早急に設置を検討しては。

A 現在は、ほっとHOTメールでの配信、広報車による巡回広報、えふえむ・エヌ・ワンでの緊急割り込み放送などが主な情報伝達手段である。しかし、この方法では、停電や道路の寸断などで障害を受ける可能性があることから、同報系防災行政無線の屋外拡声設備の導入など災害に強く、伝達性に優れた有効手段について調査、研究を行っている。迅速、正確な情報把握と、広範囲に伝達可能な有効手段について、最新技術を参考にし、金沢工業大学などの研究機関と連携の上、取り組みたい。

は国民的課題であり、許されない人権侵害・国家犯罪とする日本国政府の方針通りに記さない教科書について。外務省の公式見解と異なる領土見解を唱える教科書について。学習指導要領にて、国旗・国歌の「意義」と「相互に尊重すること」が国際的儀礼であることをきちんと教えていない教科書について。二宮尊徳や上杉鷹山を歴史上の重要人物として取り上げない教科書について。歴史上明確に疑われる事案について。かたよった表現の教科書による影響について以上6項目の見解は。

A 教科書は学習指導要領の精神を踏まえたものであることはもちろん、公正公平の立場から十分な検討を重ね、採択されるべきであると考え。また、教科書検定とは民間で著作、編集された図書について、文部科学大臣が教育基本法に掲げる教育目標に一致してい



メディアセンターとしての図書館を

村本 道治 議員

Q 次期総合計画に、若い世代も集えるメディアセンターとしての図書館と、末松廃寺周辺に博物館を計画し、県立大学の門前町の整備を盛り込んで。

A 利用者の掘り起こし、図書館活動の活性化の観点からも情報集積地としての図書館活用、情報へアクセスする利便性の向上などメディアセンター

るか、学習指導要領に示す教育の方針や各教科の目標に一致しているかなどを審査し、合格したものを教科書として使用することを認める制度であり、その制度に基づき認定されたものにコメントできる立場ではないと考える。

Q 白山・石川採択地区の選定委員会の構成と任期についてはどうか。

A 本県の公立義務教育諸学校の教科書は採択地区ごとに同一のものを使用する、広域採択制度をとっている。当町と白山市は共同採択地区となっており、採択に関する要綱、要領が定められている。それに従い白山・石川採択地区協議会を設置し、協議会の答申を受け、市町教育委員会が採択を決定している。協議会の校正は、学識経験者、教育委員会代表、校長会代表およびPTA代表となっている。

第23回 町社会福祉大会

7月2日(土)、文化会館フォーラムで町社会福祉協議会主催による社会福祉大会が行われました。この大会は、住民参加による誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指し、毎年開催されています。式典後、エッセイストの海老名香葉子氏による「泣いて笑ってがんばって」と題した記念講演も行われました。式典では、福祉に貢献された次の方々表彰されました(敬称略)。



民生委員児童委員

織田信博	小堀裕子	篠崎洋子
竹田外喜次	中川純子	西野幸江
萩原信夫	平野悦子	水渕敏子
宮口敏枝	村田 明	山村恵子
山森和子	山本光子	東原正子
徳野三知恵	東 伸明	塚本智佳子
下 幸子		

社会福祉団体役職員

酒井正男	藤多典子	古源和子
徳野美雪	加藤幸子	

社会福祉施設職員

松本紫津子	田中勇人	酒井摂子
宮前真弓	斉藤 稔	畑 明子
柴田如月	宮下すえ子	上谷由美子
大元幸枝	前千佳子	三納加奈子
伊藤康子	江表裕美	森田歩美
谷口容子	井上ひとみ	林 一恵
上森博子		

登録ヘルパー

宮森朝子	小林和美	宿 元枝
法澤光子	西田良江	

社会奉仕活動者

市本富男	藤田雅顯	中野與志久
高橋吉隆	西村正栄	東田恵子
任田花子	島 紀子	市川美恵子
小柳久代	千田幸子	中村外代子
中村登世子	林 綾江	本多清美
水上千枝子		



第7回白山野々市

消防訓練大会

↑ 速さと正確さが求められるポンプ車操法



動作の正確さと的を倒すまでのタイムを競う小型ポンプ操法

6月26日(日)、白山市の松任グリーンパークで第7回白山野々市消防訓練大会が開かれ、野々市町と白山市の消防団27分団、約550人が日ごろの訓練の成果を披露しました。当日は真夏並みに暑く小雨もぱらつく中、消防技術を競い合いました。

第2位 町消防団第二分団

ポンプ車操法の部

敢闘賞 町消防団第二分団

総合の部

大会結果

消防団活動に尽力された方への表彰も行われました。(敬称略)

〔県知事表彰〕

■銀杯を授与する表彰

藤島敏雄 松野俊一

〔県消防協会長表彰〕

■功労章 新座秀樹

■功績章 中野隆信 絹川実

■勤続功労章

小林真紀 林邦雄 村田敏幸

〔白山野々市消防連合会長表彰〕

■永年勤続表彰

徳成伸司 西本哲也 小堀修一

宮崎英明 塩田健

■退職役員感謝状 中村茂 越野昇

野々市町総合防災訓練

8月28日(日) 9:00~野々市小学校

大規模地震が発生したとの想定で、野々市小学校区の14町内会、関係機関など総勢約650人が参加して訓練を行います。

※9:00に訓練サイレンが鳴ります

問い合わせ 環境安全課 ☎227-6051

明るい社会づくりを目指す

保護司会活動

罪を償い、再発しようとする人たちの立ち直りを支え、再び犯罪や非行に陥るのを防ぐ「更生保護」。この地域活動を民間ボランティアで行うのが保護司です。

町では20人の保護司が活動しています。このうち野々市町保護司会代表の井後葉子さん(左)と、担当保護司の北村博さん(右)に保護司の活動を通しての思いを聞きました。



立ち直りを支える地域のチカラ

保護司の活動

犯罪や非行をした人に対して面接を行い、決められた約束事を守るように指導や助言をして、その人の立ち直りを助ける「保護観察」、刑務所や少年院にいる人が施設を出た後に帰る場所の環境を整える「生活環境調整」、罪や非行を予防するための「啓発活動」が主な活動です。保護司は個人で活動することが多いですが、地域の「保護司会」単位の活動もあります。

また、啓発活動の一環として学校と連携して青少年の育成にも力を入れています。授業参観や朝のあいさつ運動に参加したり、街頭キャンペーンに立ったりしています。

活動を通して思うこと

「今の時代ではしょうがないのかもしれないけれど、とにかく雇用が少ない。『協力雇用主』*などの協力を得て、活動をしているけれど、社会の現状は厳しいです」と北村さん。平成22年版犯罪白書によると、有職者は無職者に比べて4分の1まで再犯率が減るとのデータがあり、「職に就く＝再犯防止」につながります。ただ、せっかく就職してもすぐ辞めてしまう人も多いそうです。井後さんは18年、北村さんは5年、この活動が続けてやりがいを感じたり、心にも思うことはいっぱいあると言います。「非行や犯罪に走ってしまった人たちが、受け入れ環境

自分のできることから

刑務所などから出所したとしても人間関係や社会のつながりを失って孤立する人も多くいます。井後さんは、「やり直せる社会を創っていく事は、私たち保護司だけでは限界があります。立ち直りへの大きな支えには、学校、家庭、地域の協力が不可欠です。皆さんにも身近な問題として、一緒に考えてもらえたらうれしいですね」と期待を寄せました。



7月2日(土)の社会福祉大会で啓発チラシを配る保護司

※ 前歴に関わらず、積極的に雇用することで立ち直りに協力する民間の事業者

や再雇用の問題がいろいろある中でもがんばって仕事を続けて、立ち直ろうとする姿を見ると、この活動が続けていてよかったと思います。でも、保護司も人間。担当する人と真摯に向き合えば向き合うほど、悩んだり苦しんだりすることが多くなります。そんなとき、保護司仲間にご相談し、励まし合います。そんな横のつながりもこの活動の大きな力になっています。

第61回「社会を明るくする運動」啓発大会

7月1日(金)白山市の鶴来総合文化会館クレインで第61回社会を明るくする運動の啓発大会が行われ、保護司会、白山南地区更生保護女性会、白山北・石川地区更生保護女性会など約200人が集まりました。大会では、江田五月法務大臣からのメッセージを、野々市町長と白山市長に伝達しました。栗町長は、「あいさつ運動や携帯電話を持たせない運動など、引き続き活動していきたい」と決意を述べました。



7月はこの運動の強調月間として、街頭でチラシの配布や講演会の開催、ポスターや立て看板、懸垂幕の設置が全国で展開されました。



春の叙勲 叙勲受章者

公共に対する功労、社会の各分野における優れた行いを表彰することを目的として、原則年2回、春は4月29日、秋は11月3日に春秋叙勲および褒章が授与されます。また、著しく危険性の高い業務に精励した方を対象として、危険業務従事者叙勲が同日付けで授与されます。

また今年は、東日本大震災の影響で決定が延期されていましたが、6月17日に閣議決定し、4月29日にさかのぼって発令されました。

危険業務従事者叙勲

端宝単光章



坂口 正一氏
(菅原町)

陸上自衛官として、国の平和と独立を守ることに尽力される。

全国市町村教委連功労者



清水 外司英氏
(堀内2丁目)

多年にわたり教育委員として地方教育行政の振興に貢献される

議会活動

6月16日～7月15日

- 6月
- 17日 定例会（一般質問）
 - 21日 総務常任委員会
 - 22日 教育福祉常任委員会
 - 23日 産業建設常任委員会
 - 町村議会議長協議会
 - 24日 定例会（討論・採決）
 - 28日 町村議会議長会臨時総会
 - 30日 白山石川広域事務組合議会臨時会
- 7月
- 4日 教育福祉常任委員会視察
 - 5日 町村議会議長会新当選議員研修会
 - 神奈川県伊勢原市議員視来庁
 - 13日 産業建設常任委員会

大会結果

■ICFカヌーフリースタイル世界選手権ドイツ大会スクオート部門男子第3位



石原 亨氏
(中林2丁目)

入札結果

1000万円以上（税込み）

6月分入札

- 公共下水道事業 污水管布設工事
二日市第二処理分区 第37工区
予定価格 20,790,000円
落札金額 17,251,500円
落札者 拓土建設(株)
- 公共下水道事業 污水管布設工事
二日市第二処理分区 第38工区
予定価格 27,615,000円
落札金額 25,830,000円
落札者 みのり建設(株)
- 公共下水道事業 道路舗装復旧工事
二日市第一処理分区 第4工区
予定価格 19,425,000円
- 公共下水道事業 污水管布設工事
二日市第二処理分区 第37工区
予定価格 20,790,000円
落札金額 17,251,500円
落札者 拓土建設(株)
- 公共下水道事業 道路舗装復旧工事
二日市第二処理分区 第7工区
予定価格 20,160,000円
落札金額 18,742,500円
落札者 沢田工業(株)
- 23-4柳町地内配水管布設替工事
第1工区
予定価格 29,610,000円
落札金額 26,460,000円
落札者 大智(株)
- 住環境整備事業 泉野野々市線横断地下道上屋整備工事
予定価格 19,740,000円
落札金額 15,193,500円
落札者 (有)柿本建設
- 二日市矢木線舗装改良工事 第2工区
予定価格 27,720,000円
落札金額 25,830,000円
落札者 沢田工業(株)
- 野々市町北西部土地地区画整理事業
二日市徳用線外街路舗装工事
予定価格 18,480,000円
落札金額 17,115,000円
落札者 金沢舗道(株)

みんなで作ろう！

「地域福祉計画」・「地域福祉活動計画」

町では、社会福祉協議会と連携して、「地域福祉計画」「地域福祉活動計画」を策定し、「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり」をめざしています。

この計画は住民の皆さんが主役です。ぜひ、一緒に地域福祉について考えていきましよう！

「地域福祉」って
なんだろう？



ひとり暮らしのお年寄り、子育てに悩んでいる人、障害のある人など誰もが何らかの支援が必要になっても、「地域で幸せに暮らしたい」と願っています。

地域福祉とは、地域の人たちをはじめ、ボランティアなどが「幸せの担い手」として行政や関係機関と助け合い、支え合っていくことです。

また、住み慣れた地域の中で、誰もが自分らしく、まちの一員として自立した生活が送れるような「地域社会」をつくっていくこともあります。

アンケートを実施しました

今年6月には、18歳以上の町民から、無作為抽出した2000人を対象に、「地域福祉」に対する考え方や意見をお聞きする目的でアンケート調査を実施しました。

現在、その結果を集計し、地域座談会で活用したり、計画に反映するための分析を行っています。

地域座談会が始まります

8月から11月にかけて、公民館や集会場で「地域座談会」を約20回開催する予定です。自分たちの地域の課題や解決方法について、みんなで話し合ってみませんか。

地域福祉に関心のある人の積極的な参加をお願いします。

問い合わせ

しあわせ支援課

社会福祉協議会
☎227-6063
☎246-0112

8月・9月上旬に開催される地域座談会の日程（開催時間19:00～20:30）

日程	会場	該当する町内会
8月17日(水)	交遊舎	御経塚、あやめ
8月23日(火)	青少年センター	扇が丘、住吉町、菅原町
8月25日(木)	菅原団地集会所	菅原団地
9月9日(金)	新庄町内会館	新庄3丁目、新庄4丁目、新庄5丁目
9月12日(月)	太平寺会館	太平寺、位川

食事は楽しく感謝の気持ちをもって

保育園食育事業

6、7月に計3回、園児に食べることで生きることのつながりを理解してもらおうと、ふじひら保育園年長児23人を対象に食育事業が開催されました。

栄養士による寸劇やクイズ、食生活改善推進委員や林浩陽さんのお話を聞いてバランスの良い食事や、食べ物の大切さを学びました。また6月15日(水)には、調理実習を通して、自分の力で料理を作る達成感を味わいました。

お米が「ご飯」になる様子を真剣に見つめる園児たち→



みんなで守ろう！自転車マナー

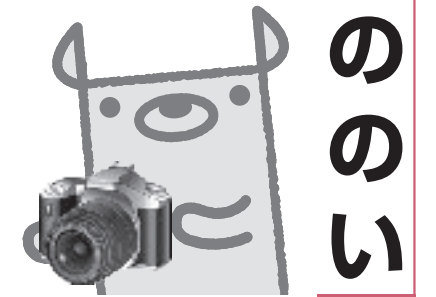
交通安全自転車教室

自転車の安全運転とマナーの向上を図ろうと町内小中学校7校で交通安全自転車教室が行われました。6月17日(金)には、布水中学校で、1年生245人が参加し、衝突実験や夜行反射材の効用実験を見学し、実際に自転車を使って安全性や危険性について学びました。

講評では、松任警察署員が「人に思いやりをもって運転し、ルールとマナーを守って下さい」と呼び掛けました。生徒は、「交通安全の大切さを知りました。今日の体験を今後に活かしたいです」と応えていました。



↑講習会参加2年目の工大生。手つきも様になってきました



の の い ち カメラあちこち

野々市のふるさとづくりは踊りの和から

野々市じょんから踊り講習会

野々市じょんからまつりで踊る「野々市じょんから踊り」に、子どもから大人まで気軽に参加できるように、踊りの講習会が7月7日から計5回、公民館などで実施されました。

7月15日(金)夜の文化会館フォルテでの講習会には、大会に出場する大学生や銀行員、子どもたちなど約40人が、じょんから節保存会会員の手ほどきを受けました。銀行支店の一行は、「野々市に赴任した以上は、野々市じょんから踊りを覚えたい」と汗を流していました。

←教える方も熱が入り、会場内では個別レッスンも



歴史を振り返り、さらなる発展を願う

けやき野苑開苑20周年記念式

けやき野苑の開苑20周年を祝う式典が6月25日(土)、白山市内のホテルで開催されました。約82人が出席し、節目を祝いました。式では、けやき野苑を運営する富明会の岩田理事長が、「これからも利用者、保護者、職員の3者の心を一つにして楽しく喜びあふれる施設づくりをしたい」とあいさつしました。

同苑は、昭和56年に誕生した野々市授産所を母体として、平成4年4月に入苑者19人で開苑し、現在は41人の知的に障害のある人が利用しています。



大人から子どもへ、町を美しくする心を伝えたい

町ぐるみ美化清掃

7月3日(日)、“ののいちっ子を育てる”町民会議と連合町内会が主催する「子どもと大人の町ぐるみ美化清掃」が、各町内会単位で行われました。

早朝にもかかわらず、小学生から大人まで町民総出で、公園や歩道、神社などのゴミ拾いや草むしりをしました。布市神社では、小学生に竹ぼうきの持ち方を教えたり、草むしりをしながら中学生たちとの会話を弾ませる大人の姿が見られました。きれいになった神社には、これから夏休みのラジオ体操に来る子どもたちの声が響くことでしょう。



子育てしやすい、住みやすいまちへ

二日市町で町営住宅と児童館の起工式

児童館が併設する町営住宅の起工式が、7月6日(水)、二日市町で行われ、栗町長がくい打ち初めを行いました。

子育て世代が定住しやすいようにと、4月に開園したアリス保育園とも隣接しています。町営住宅と児童館を合わせた敷地面積は約4,600㎡で、町営住宅は鉄筋コンクリート5階建ての40戸。児童館は鉄骨2階建てで、2階には学習室を置き放課後児童クラブとして活用します。町営住宅は来年9月ごろ、児童館は来年3月ごろに完成予定です。町営住宅の入居者募集は、来年夏以降に広報でお知らせします。



健康的な食生活と体操で元気に長生き！

高齢者生きがい教室

6月23日(木)、郷地区老人会「松寿会」が、食事や体操について学びました。

午前中は、消費生活研修会として県栄養士会の大谷千晴副会長が生活習慣病を説明。参加者26人は前の日に食べたものを書き出し、食材に偏りがなかったか振り返りました。大谷さんは「面倒でも、自分のためにひと手間かけて調理し、地元の食材・旬の食材で健康管理を。」と呼びかけました。

午後からは、健康体操教室を開く高坂良恵講師が体操を指導し、参加者は楽しく体を動かしました。

オススメの本

子ども向け



『ねこの絵本 新装版』
 いもと ようこ／作・絵
 講談社
 あまえる、遊ぶ、じゃれる、ケンカする、くっついて眠る。何をしてもかわいい、何もしてなくてもかわいい、フワフワの子ねこがいっぱいの本。

大人向け



『夜と霧 ドイツ強制収容所の体験記録』
 V. E. フランクル／著 みすず書房
 終りの見えない絶望の中で、人々はどう生きたか。精神科医だった著者は、なぜ生還できたのか。数ある類書の中で、この本が長く読みつがれてきた理由がきっとわかる感動の手記。

今月のおはなし会

とき：8月13、27日(土)
 午前11時から
 場所：児童図書コーナー

楽しい絵本や紙芝居の読み聞かせです。誰でも自由に参加できます。

今月の展示図書

テーマ**『カワイイ! 動物たち』**
 ※展示期間中は貸出できませんので、予約をお願いします。

町の歴史に触れ、郷土を愛する気持ちに繋げたいという思いからのいち里まちガイドの協力を得てスタートした「ののいち歴史めぐりinじどうかん」。
 一回目は、3館（中央・本町・押野）合同で、布市神社の弁慶の力石・富樫家について学び、高尾城跡に登りました。この日は富樫卿になった気分でした。二回目は、のっティに乗り、富奥小学校跡地や緑広がる田園地帯を周りしました。「一村一心」の碑の前では村民が一つになって喜びを分かち合い、悲しみを共にすることが大切だと聞かされ、自分の身に置き換えて納得する子どもたちの姿が見られました。

そこから西の方に歩くと、緑の田園地帯が広がり、七ヶ用水の一つ富樫用水には水が流れ、水田に潤いを与



かがやくひとみ

「ののいち歴史めぐりinじどうかん」
 中央児童館



えていました。実際に田んぼの中に入り、先人が守ってきた自然からの恵みを体験しました。
 昔は多数の生き物が人間と共生していましたが、都市化が進み、赤トンボ・ホタルなどが少なくなってしまう話を聞き、子どもたちは何かを感じとったのではないかと思います。これからも身近な歴史や自然に触れて野々市の良さを知ってほしいと思っています。

Culture 美の演 第30回町美術展

- ◇町議会議長賞
山口浩（写真）
- ◇町教育委員会教育長賞
森一郎（日本画）
- ◇町文化協会会長賞
豊田美紀（写真）
- ◇町美術文化協会会長賞
金子昌代（書）
- ◇北國新聞社長賞
境谷芳枝（洋画）
- ◇野々市ライオンズクラブ会長賞
綾間義明（写真）
- ◇野々市ロータリークラブ会長賞
谷本千佳（日本画）



- 一般の部
◇町長賞
中村春男（彫刻）
「親子獅子」

7月8日(金)から18日(月)まで、情報交流館カメリアで町美術展が開かれました。会場には、町の美術家たちが丹精込めて作り上げた137点が並び、来場者の目を楽しませました。入賞者は次のとおりです。（敬称略）

- ◇北國新聞社奨励賞
石田健二（日本画）、木村幸雄（工芸）、木戸加奈子（写真）

- ◇佳作
小瀬正治（日本画）、宮岸伸彦（日本画）、高桑奈美（書）、古源一栄（工芸、北洋一（写真）、大沢弘司（洋画）

- ◇町美術文化協会員奨励賞
高野郁子（日本画）、下川聡美（書）、長峰あゆみ（工芸）、尾山隆夫（洋画）、永見紀雄（写真）

ジュニアの部

- ◇金賞
西村美里、木戸七巳、倉田雅也、餅木寛人
- ◇銀賞
中村太一、深山紗衣、水島加央瑠、金谷莉子、加藤彩花、大野沙弥
- ◇銅賞
北川由佳子、中山楓、鍋木綾乃、豊田美保、佐藤聖真、村伽詩子、赤祖父加奈、小堀仁稜、山本彪磨、新町洗貴

野々市検定

正しい
18ページで

～新しい発見があるかも!?～⑤

町の魅力を伝える野々市検定第5弾! じゃんからまつりにまつわる問題を作成しました。楽しみながら挑戦してみてください。

〈1問目〉 毎年、夏恒例の野々市じゃんからまつり。今年で第何回?
 A. 第10回 B. 第20回 C. 第30回 D. 第40回

〈2問目〉 現在の野々市じゃんからの歌詞「富樫略史音頭」は何番まで?
 A. 9番 B. 13番 C. 17番 D. 21番

〈3問目〉 野々市じゃんからが昭和39年にレコード収録されたときの歌手はだれ?
 A. 三波春夫 B. 村田英雄
 C. 島倉千代子 D. 新川二郎

わたしの夢

ぼくの夢

雑貨屋さんになりたい
 田辺 菜桜さん
 御園小学校3年

大工さんになりたい
 大石 子龍くん
 御園小学校1年

東京野々市会

東京野々市会の今年度の総会は、7月9日(土)に東京都千代田区のホテルで、会員ら21人が出席して開かれました。
 会では、中嶋一郎会長のあいさつに引き続き、栗町長が、県議会6月定例会で、町の市制施行が全会一致で可決され、今年11月11日に野々市市が誕生することを報告しました。また、会から町花木のツバキと TENTO を贈呈することを決定し、新市の誕生に祝意を表することとしました。
「町出身者でつくる「東京野々市会」一関西野々市会」会員募集
 会では毎年、総会や懇親会を開催し、会員相互の親睦を深めています。また、広報のいちやふるさと特産品を通じて町の今を知り、野々市応援団として全国へ野々市の魅力を発信しています。
年会費 3千円
問い合わせ 総務企画課
 ☎2227-6026

『もしも』の時の安心と信頼
会員募集 フューネラル倶楽部
 JAのいちコスモスの会
 JA指定ホール
 フューネラルホール 天祥閣
 野々市町矢作2丁目111番地 電話(076)294-4141
 フリーダイヤル
 ☎0120-800-448
 URL http://www.tensyoukaku.co.jp

スピード
 給付の **県民共済**
 こども型 総合保障型
 熟年型 新型火災共済
 お問い合わせと資料のご請求は
 ☎0120-63-5011
 ☎076(263)5011(代) ☎076(263)5107
 [共済取扱団体/石川県認可] 石川県民共済生活協同組合
 〒920-0901 金沢市彦三町2-1-10 真和ビル3F
 ホームページアドレス▶ http://www.ishikawa-kyosai.or.jp/
 携帯電話からはこちらへ▶ http://kcyo-sai.jp/

広告募集中
 (1号5.6cm四方)
 掲載料は月額2万円。6ヵ月連続掲載で10万円(1ヵ月分無料)
 ※税込み、版下原稿作成費用は含まない
 問い合わせ 広報情報課広報広聴担当 (☎227-6056)

広告欄

子 の 名	親 の 名	住 所
松田帆乃夏	美穂典	新庄2
宮川蒼大	大介	押野7
松岡友理	友希	栗田2
隈部凜	道裕	三納
池上岳	森彦	若松町
岩原里穂	恵美	菅原町
岡野結菜	哲穂	下林4
川上勇真	和宏	本町2
水野陽葉	陽美	矢作1
忍久保慶士	美奈士	上林4
林百々花	池戸茉莉亜	坂本
千紗祥子	裕美崇	谷口
弘美崇	弘美崇	谷口
千絵慧	千絵慧	小川
友靖昭	友希	田場
仲栄	佳奈	松崎
和子	瑛人	橋本
美智沙	美智沙	百海菜々美
絵梨公洋	絵梨公洋	加地
順子	順子	山本
瑞穂司	瑞穂司	遠藤香奈笑
知美誠	知美誠	坂本
めぐ篤み	めぐ篤み	寛仁
矢作3	矢作3	坂本
下林1	下林1	坂本
本町4	本町4	坂本
矢作4	矢作4	坂本
本町1	本町1	坂本
横宮町	横宮町	坂本
新庄4	新庄4	坂本
御経塚2	御経塚2	坂本
押野7	押野7	坂本
野代3	野代3	坂本
押野5	押野5	坂本
栗田6	栗田6	坂本

川田煌太	是枝篤希	山田蓮	渡邊颯太	泉朋希	中村葵	亀田桃大	水口柚葉	牧野哲	吉田朝陽	森美宇	松本涼雅	藤木宏太	マレキバトウル	伊藤陽人	板屋宗志郎	前枝心夢	中村颯	川本博輝
大直美	征里秀	奈津子博	謙美太	昇志	里織	由紀学	ゆかり	宏尚裕	知奈邦裕	佐保成	靖匡志	憲一	知里	英賢	直里	幸宏	有希	有希
二日市町	新庄3	長池	押野6	藤平田1	本町5	新庄2	栗田1	本町1	栗田5	扇が丘	菅原町	野代3	栗田3	二日市町	二日市町	押野5	押野5	押野5

藤原昊大	磯邊瞳咲	伴奈々子	高田慶吾	彦坂千夏	南川瑠々愛	山越陽貴	森見多	スウィーニー蕨	岡田笑太郎	竹田創祐
久哲也	将里喜	寛久志	幸一	智子	由佳	良衣朗	奈緒子	知栄	志幸	孝志
二日市町	菅原町	本町4	押野2	住吉町	新庄2	稲荷4	御経塚3	押野5	押野5	新庄1

橋嶋宏治	森和宏	吉田能美	横山三	宮野渡	横山憲一	横山孝一	吉本治子	村田昇	中村敬子	桑本茂	清水千穂子	西川トキ	内村君	内田光	米原洋子
二日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町
二日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町

橋嶋宏治	森和宏	吉田能美	横山三	宮野渡	横山憲一	横山孝一	吉本治子	村田昇	中村敬子	桑本茂	清水千穂子	西川トキ	内村君	内田光	米原洋子
二日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町
二日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町	三日市町

戸籍の窓

H23.6.16～H23.7.15受付分
個人情報保護のため本人・ご家族の希望があったものを掲載しています

6月末現在の人口

()は前月比

人口 47,470人 (+ 82)

男 24,040人 (+ 21)

女 23,430人 (+ 61)

世帯数 20,371世帯 (+ 48)

6月中の人の動き

転入 231人

転出 183人

出生 53人

死亡 19人

※住民基本台帳に記載されている数字です

“いきいき”のいち人

63



子どもへ
思いやりのある子に育って欲しい

別宗 陽子さん／藤平田 彩有子ちゃん

リレー方式で町民の方々を紹介しています

野々市町で暮らしてどうですか？

2年前に野々市町に引っ越してきました。すぐ近くにいろんなお店があるので便利で過ごしやすいです。

広報についてのご意見？

子育て関係のページを中心に見ます。先日、お知らせ版の子育て応援ひろばを見て救命救急講座に行ってきました。今度は、ベビーサインの講座に参加してみたいと思っています。

自分の性格を一言であらわすと？

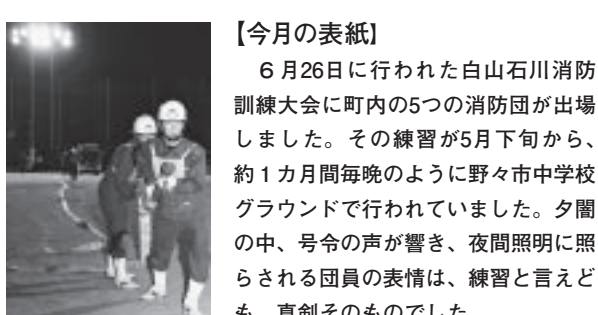
優柔不断、大ざっぱなところですかね。人からは、典型的なO型だねなんて言われます。

趣味やリフレッシュ方法はなんですか？

ママ友達とランチに行く事です。あとは、週末に実家に行くことですかね。両親が喜んで子どもを見てくれるので本当に助かります。

目標やチャレンジしてみたいことは？

夏は水遊びをしたり、秋は紅葉を見に行ったり家族みんなで四季を感じられる生活を送っていきたいですね。あとは、子どもの成長を通して、親も成長していければいいなと思います。



野々市検定

(問題は16ページ)

【第1問】C 野々市じよんから踊り大会と商工会主催の野々市まつりを合わせて、昭和57年から野々市じよんからまつりが始まり、今年で30回目だった。

【第2問】C 今の野々市じよんから節の歌詞は、昭和3年に郷土史家木村素堂氏がつくった。17番までである。

【第3問】B コロムビアレコードから昭和39年に発売され、村田英雄が唄う野々市じよんからが全国に広まった。

テレビ広報

ケーブルテレビ9ch
ののいちふれあい通信
8:00～8:30
18:00～18:30

ラジオ広報

FM放送 76.3MHz
マイタウンのいち
月～金 / 6:30～7:00
11:20～12:00
16:00～17:00

町ホームページが全国広報コンクルのウェブサイト町村部で入選しました。ほぼ毎日更新し、コッコツと町の情報を増やした結果が、2年連続の入選に結びついたのだと思います。また、町キャラクター「のっティ」を活用したユニークなコンテンツも評判に。のっティちゃんねる、ARのっティ、Twitterなど、まだ見たことがない人は、町ホームページからぜひ！

(M S)

東日本大震災の広報広聴体制から学ぶ場に参加しました。自治体の防災計画と住民の防災教育の両方が機能していなければ、行政がいくら避難情報を発信しても住民には伝わらなかったとのこと。行政メディアは、報道に値することを日ごろから発信していないと住民には聴いてもらえないなど、耳の痛い話も。災害時初期の広報が多くの生死を分けた実態を知り、責任の重さを感じてきました。

(Y M)

声で聴く「広報のいち」 問い合わせ 橋野 千恵子 (☎248-2521)

音訳グループ「カミーリア」が、毎月広報のいちを録音したテープを作っています。また、地域ポータルサイト「ののいちタウン情報局」でも、聞くことができます。目の見えない人だけでなく、活字が読みにくくなったという人もご利用ください。



かんざし（徳用クヤダ遺跡出土）



鏡（末松しりわん遺跡出土）



紅猪口（三日市 A 遺跡・徳用クヤダ遺跡出土）

江戸時代の身だしなみ

装身具や化粧は、自分を美しく見せる行為として縄文時代から用いられていました。また、危険から身を守るといった呪術的な目的や、身分を示す目印として重要な役割も果たしてきました。江戸時代でも年齢や職業、既婚・未婚の別によって髪型や化粧の仕方に違いがあったようです。

町内の発掘調査では、江戸時代の化粧道具や装身具がいろいろ出土しています。櫛（くし）などの木製品は土に戻ってしまうのでほとんど出土することはありませんが、磁器の紅皿や金属製品の鏡・かんざしなどがみつかっています。

紅皿は紅を入れるための容器で、紅猪口（べにちよく）などとも言われていました。紅は高価であったので、こうした皿に少量の紅を入れて売られていたようです。紅は唇のほかに目や頬の化粧にも使われていました。鏡は中世になると円い鏡に柄のつくものが現れ、江戸時代に入るとそれが一般的になります。鏡の裏面には様々なデザインが施されています。

今では昔のような目的で身を飾ることはありませんが、美に対する意識は同じであったでしょう。